

○北杜市ながさかげんき百歳センター条例

平成17年10月7日

条例第47号

北杜市ながさかげんき百歳センター条例（平成16年北杜市条例第133号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 高齢者が自ら軽スポーツ、筋力トレーニング等を楽しみながら、心身を鍛え、市民等しく健康で長寿を保つことができるよう、北杜市ながさかげんき百歳センターを設置する。

（名称及び位置）

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 ながさかげんき百歳センター

位置 北杜市長坂町大八田6811番地306

（管理）

第3条 北杜市ながさかげんき百歳センター（以下「センター」という。）の管理は、市長が行う。

（職員）

第4条 センターに必要な職員を置くことができる。

（利用者の範囲）

第5条 センターの利用者は、60歳以上の者とする。ただし、その利用に支障のない場合は、その他の者にも利用させることができる。

（開館時間）

第6条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（休館日）

第7条 センターの休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

- （1） 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たる場合はその翌日）

(2) 12月28日から1月4日まで

(利用の許可)

第8条 センターを利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

(1) 公の秩序をみだし、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) センターの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、センターの管理上支障があると認められるとき。

(利用の制限)

第9条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

(1) センターを利用する者（以下「利用者」という。）が許可を受けた利用の目的に違反したとき。

(2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。

(3) 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。

(4) 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。

(5) 公益上必要があると認められるとき。

(6) 前各号に掲げる場合のほか、センターの管理上特に必要と認められるとき。

2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じて、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

(使用料)

第10条 利用者は、市長にセンターの利用に係る使用料（以下「使用料」という。）

を納付しなければならない。

2 使用料の額は、1時間につき210円とする。

(使用料の減免)

第11条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第12条 既納の使用料は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第13条 センターの管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」）に行わせることができる。

2 前項の規定によりセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、指定管理者は、第6条の規定にかかわらず、市長の承認を得て開館時間を変更することができる。

3 第1項の規定によりセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、指定管理者は、第7条の規定にかかわらず、市長の承認を得て臨時に開館し、又は休館することができる。

4 第1項の規定によりセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条及び第9条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第14条 指定管理者の業務の範囲は、次に掲げるものとする。

(1) センターの利用の許可に関すること。

(2) センターの施設及び設備の維持管理に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、センターの運営に関して市長が必要と認める業務

(利用料金)

第15条 第13条第1項の規定により、センターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第10条第1項の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者にセンター

の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

2 利用料金は、1時間につき210円を上限とし、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

（利用料金の収入）

第16条 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

（利用料金の免除）

第17条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、あらかじめ市長の承認を得て利用料金を免除することができる。

（1） 市内に住所を有する60歳以上の者が、体力づくりの目的をもって利用するとき。

（2） その他必要があると認めるとき。

（利用料金の不還付）

第18条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

（損害賠償）

第19条 利用者は、故意又は過失によりセンターを汚染し、又は破損した場合は、市長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第20条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行前に、この条例による改正前の北杜市ながさかげんき百歳センター条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の北杜市ながさかげんき百歳センター条例の相当規定によりなされた処分、手

続その他の行為とみなす。

附 則（平成 23 年 7 月 1 日条例第 17 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 31 年 3 月 27 日条例第 2 号）

この条例は、令和元年 10 月 1 日から施行する。

附 則（令和元年 7 月 3 日条例第 2 号）

この条例は、公布の日から施行する。